

## 2022年度 生産環境管理学特別講義Ⅲ

単位数：1

履修開始年次：3

履修時期：2学期

時間割：集中講義

実施方式：対面を基本とする

テーマ：

生産環境管理に関連する課題の発見能力を養うとともに、生産環境管理学分野での学習知識を総合的に活用して課題解決を図るデザイン能力を養う。

教員：

河野俊夫、佐藤周之、井原賢、齋幸治、橋本直之

オフィスアワー・学生相談室：

各指導教員の指示に従ってください。

履修希望学生に求めること：

本授業を履修するにあたり、授業科目の到達目標とカリキュラムマップおよび授業計画を確認し、自己学習時間を設け、予習復習に努めてください。事前学習や資料作成のため授業時間外の学習を要します。

キーワード：

生産環境管理、フィールド

到達目標：

- ・生産環境管理学に関連する課題を発見することができる。
  - ・デザイン能力を養うことで課題解決を図ることができる。
- ※知識・理解◎、思考・判断◎、関心・意欲◎、態度◎、技能・表現△
- ※生産環境管理学プログラムの履修学生は学習目標D達成のために履修が望まれます。

全体概要・注意事項：

対面実施を基本としますが、COVID-19の感染拡大状況から、適宜、オンラインに変更することがありますので、教員からの指示に従ってください。

授業時間外の学習：

授業時間外における課題レポートに取り組んでください。

計画：

第1日：研究室の活動について学ぶ（3コマ）

（内容）研究室のゼミに参加するなどして、研究室での活動、上級生の卒論などについて理解を深める。

第2日：卒論で必要となる知識・技術について学ぶ（4コマ）

（内容）自身が卒論に着手したときに備え、卒論で必要になるとと思われる全般的な知識について学ぶ。

第3日：卒論で必要となる技量について学ぶ（4コマ）

（内容）自身が卒論に着手したときに備え、卒論で必要になるとと思われる全般的な実験やデータ処理の方法・手順等の基本的な事項について学ぶ。

第4日：卒論への取り組み方について学ぶ（3コマ）

（内容）自身が卒論に着手したときに備え、卒論を進める際の心構え、検討の進め方、作業計画の考え方などについて基本的な事項を学ぶ。

第5日：学んだことを共有する。（2コマ）

（内容）ここまでに身に着けたこと、感じたことなどを他の学生や教員と共有し、フィードバックを受ける。

※ただし、実際には、各内容を複数日にわけて実施する場合があるので各指導教員の指示に従ってください。

教科書・参考書：

なし。必要に応じてプリント等を配布します。

成績評価：

配点：課題・レポート（100）＋出席（0）＋その他（0）